

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第16号
2023年10月4日(水)発行
【ミズヒキ】

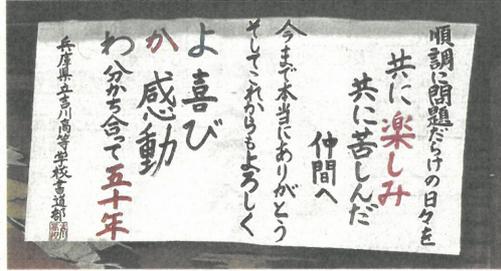
吉川高校(三木市吉川町渡瀬)の創立50周年記念式典が、三木市吉川町西奥の吉川総合公園パストラルホールで開かれた。同校は2025年度に三木北、三木東高校と統合し、27年3月で閉

校となる。在校生や学校、地域関係者約400人が出席。地域とともに歩んだ半世紀を祝いつつ、新たに開校する学校へ吉川高校の思いを引き継ぐ決意を込めた。(長沢伸一)

仲間、地域への感謝胸に前へ



自吉川高校書道部がしたためたメッセージ
和太鼓演奏を披露した生徒有志



式典に先立ち、2、3年生の有志10人が和太鼓演奏を披露した。この日のために3カ月練習を積んだ生徒たちが躍動。「それっ」とかけ声を合わせ、力強い音を会場に響かせた。
今回、初めてばちを握ったという戸田康博さん(3年)は「動きを大きく見せるよう工夫し、気持ちよくたたけた。節目の大きな舞台で高校生としての爪痕を残せた。この経

よ喜び
か感動
わかち合って五十年

順調に問題だらけの日々を共に楽しみ共に苦しんだ仲間へ
今まで本当にありがたそう
そしてこれからもよろしく
今ま本当にありがたそう
そしてこれからもよろしく
仲間へ
順調に問題だらけの日々を
共に楽しみ共に苦しんだ仲間
へ
8(昭和23)年10月に設置された有馬高校吉川分校が前身。74年に独立し、吉川高校となった。昭和・平成・令和の半世紀で7千人の卒業生を送り出してきた。
記念式典は9月30日(木)にあり、ステージには、同校書道部員が筆でしたためたメッセージが掲げられた。

吉川高校創立50周年記念式典

「一番に生徒を大切にされ、温かみと親しみを大いに感じる素晴らしい1日を過ごすことができました。生徒代表の『吉川高校に来てよかった』の言葉について、目頭が熱くなりました。来賓として出席された、ある校長の感想です。生徒活躍の記録、今号では式典の様子を、神戸新聞 2023年(令和5年)10月3日付けの記事で振り返ります。なお、記事の転載にあたっては、神戸新聞社より著作物使用の許諾を得ています。」

校内外の400人出席 生徒の書や和太鼓演奏で花添え

藤本哲也校長は式辞で、学校の歩みや27年に開校となることに言及し「50年にわたってリレーされてきた『感謝』という見えないたすきをつなぎ、無事にゴールすることを約束する」と述べた。
在校生代表として登壇した鹿島心暖さん(3年)は、吉川高校の魅力を「誰もが主役になれる高校で、自宅近くろげるような雰囲気」と表現。「新しい学校にも引き継がれていくように高校生活を全力で楽しむ」と力を込めた。
吉川町出身の上北夏味さんがリーダーを務めるアカペラグループ「宝船」の記念公演も行われた。



約400人が節目を祝った吉川高校の50周年記念式典=いずれも吉川総合公園



よ喜び か感動 わ分かち合って 50年!
兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

